

ベナンを発見しよう！2
 - 共立アフリカンフェスティバル2018 -
 講演会「ベナンを発見しよう！～ベナン女性の生活はどんなもの？～」
 2018年7月7日(土)13:00～15:15 (12:45受付開始)
 共立女子大学2号館2階 オープンプレゼンテーションエリア

【第1部(13:00～14:00) 絵本にみる西アフリカ女性の生活】

講師 村田はるせ

東京外国語大学地域文化研究科博士後期課程修了、博士(学術)。アフリカ文学研究者。西アフリカのフランス語を公用語とする国々で出版された絵本を紹介する展示「アフリカの絵本ってどんなの？」を全国で展開している。アフリカについて学ぶ「クスクス読書会」主宰。著書に『アフリカ学事典』(共著/昭和堂/2015年)、訳書に、コートジボワールの作家ヴェロニク・タジヨ作の絵本『アヤンダ おおきくなりたくなかったおんなのこ』(風濤社)がある。



※講演会当日は、アフリカで出版された絵本の特別展示も行います！

【第2部(14:15～15:15) トークセッション】

ゲストスピーカー

ゾマホン ポヌ ジョジアヌ



ベナン共和国出身。元共立女子大学特別研修生。東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻博士課程修了。東京大学大学院特任助教。共立女子大学にて数学の非常勤講師を務めている。

ゲストスピーカー

渋谷真奈美

2010年8月、共立女子大学文芸学部フランス語フランス文学コース卒業。同研究室にて助手として勤務した後、2015年8月より1年間、IFE財団の運営する「たけし日本語学校」にて教鞭を取る。



ベナン共和国
 について

日本の面積の約3分の1の国土に約920万人の人々が生活をしている。首都はポルトノボだが、経済的首都はコトヌー。

本学では毎年ベナン共和国の特別留学生を受け入れており、今回の写真展、講演会ではベナン共和国の文化、特に「女性の暮らし」に焦点を当てる。

図書館3階にて、アフリカの図書をテーマにしたコラボ展示を開催します。

Bibliothèque

Cafeteria

本館4階の食堂にて特別アフリカメニューが登場します。

学内者限定！写真展開催期間中の特別企画のご案内！



アクセス

東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線「九段下駅6番出口」徒歩5分
 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線「神保町駅A8出口」徒歩1分